

春日部の
特産品

脈々と受け継がれる匠の技



麦わら製品

古くから麦の集散地として知られてきた春日部。農家の副業だった麦わら真田を改良、工夫し、明治30年ごろから現在のような麦わら帽子になったとか。今では帽子のほかに、バッグや小物入れなど、バラエティ豊かな製品が作られています。



押絵羽子板



桐 箱

約300年の歴史と伝統を誇る春日部の桐箱。そもそもの始まりは元禄時代、日光東照宮造営のおりに集まつた全国の工匠が、春日部の桐に魅せられたところから。防湿、優雅、軽量という特徴を生かした製品は、小さな芸術品とまで呼ばれています。

春日部歳時記

*日程は変更となる場合がございます。



【内牧の甘熟梨】

8月上旬～10月中旬／内牧地区
食欲の秋を彩る味覚の代表選手といえば「梨」。春日部市の北西部にあたる内牧地区には多くの梨園があり、秋には梨狩りも楽しめます。家族連れや友達同士で出かけてみてはいかがでしょうか。

どんと焼き	1月15日 春日部八幡神社	浅間神社初山祭	7月1日 浅間神社
銚子口の獅子舞	1月23・7月15・10月23日に近い日曜日 銚子口香取神社	春日部夏まつり	7月13日に最も近い土・日曜日 春日部駅東口・西口駅周辺
初午大祭	3月第1日曜日 備後須賀稻荷神社	やったり踊り	7月15日に近い土曜日 大畠香取神社
子育て呑龍花祭り	4月第1日曜日 圓福寺	西金野井の獅子舞	7月の海の日に近い日曜日 西金野井香取神社
不動院野の神楽	4月15日に近い日曜日 大杉神社	赤沼の獅子舞	7月15日と10月19日に近い日曜日 赤沼神社
牛島の藤開園	4月下旬 藤花園	倉常の神楽囃子	7月24日に近い日曜日 倉常神社
春日部藤まつり	4月下旬の日曜日 春日部西口ふじ通り	榎の囃子神楽	10月15日 富多神社
春日部重行公祭	5月1日 最勝院	東中野の獅子舞	11月第3日曜日 東中野香取神社
春日部大凧あげ祭り	5月3・5日 江戸川河川敷（宝珠花橋下流）	酉の市	12月14日 粕壁神明社
春日部大凧マラソン大会	5月4日 庄和総合公園前スタート	かすかべ押絵羽子板と 特産品まつり	12月下旬 春日部駅東口





◀【春日部大凧あげ祭り】

(国選択無形民俗文化財)

5月3日・5日／

江戸川河川敷 (宝珠花橋下流)

その年に初節句を迎える子どもたちの健やかな成長を祈願して行われます。大凧は、縦15m、横11mで重さは800kg。大きさは畳100畳分もあり、日本最大級の大きさを誇っています。江戸時代後期から伝わる伝統的行事です。

※祭り当日は、臨時バスが利用できます。

※5月4日には、春日部大凧マラソン大会も行われます。

【春日部藤まつり】▶

4月下旬の日曜日／

春日部駅西口ふじ通り

フジは春日部市の花として知られています。4月中旬から5月にかけ、ふじ通りが薄紫の花でいっぱいになります。藤まつりの日の通りには多くの模擬店が並び、流し踊りなど様々な催しが盛大に繰り広げられます。



▲【銚子口の獅子舞】

(市指定無形民俗文化財)

1月23日・7月15日・10月23日に近い日曜日／銚子口香取神社

「一人立三頭獅子」という形式で（「天狗の舞」や「出端の舞など」）、勇壮な舞が特徴的です。家内安全・五穀豊穣・災難除去・天下泰平を祈願して、銚子口香取神社に奉納されます。



◀【やつたり踊り】(県指定無形民俗文化財)

7月15日に近い土曜日／大畠香取神社

「ヤッタリナー、ヤッタリナー」というお囃言葉に合わせて、扇子踊りや手踊りを繰り広げる「やつたり踊り」は、武里駅近くの大畠香取神社で行われます。大畠地区に350年前から伝わる伝統行事で、地元の若衆の躍動的な踊りが見ものです。



▲【不動院野の神楽】(市指定無形民俗文化財)

4月15日に近い日曜日／東不動院野大杉神社

江戸時代の末頃から演じられている行事。無病息災、厄魔退散、そして家内安全を祈願して行われます。



▲【春日部夏まつり】▶

7月13日に最も近い土・日曜日／

春日部駅東口・西口周辺

「春日部夏まつり」は、ふるさと春日部の夏を彩る大イベント。各町内から大人みこし20数基が練り出し、街を練り歩きます。人出もざっと20万人以上。春日部が最も熱くなる2日間です。



【赤沼の獅子舞】▶

(市指定無形民俗文化財)

7月15日と10月19日に近い日曜日／赤沼神社

神社の境内に4本の笹竹を立て、注連縄を巡らした中にむしろを16枚敷き、その上で獅子舞が神社に奉納されます。



◀【西金野井の獅子舞】

(市指定無形民俗文化財)

7月の海の日に近い日曜日／西金野井香取神社

悪魔払いや五穀豊穣、雨乞いの祈願として演じられており、午前から夜半までの長時間にわたって獅子舞が繰り広げられます。



▲【倉常の神楽囃子】

(市指定無形民俗文化財)

7月24日に近い日曜日／倉常神社
正徳年間（今から約300年前）に疫病が流行したとき、疫病退散の祈願に囃子を演奏したことが始まりといわれています。



▲【かすかべ押絵羽子板と特産品まつり】

12月下旬／春日部駅東口

冬の風物詩として親しまれている「かすかべ押絵羽子板と特産品まつり」。戦後良質の桐を求めて移り住んだ浅草の押絵師たちが作り始めた押絵羽子板を中心に、三百年の伝統を誇る桐箱や桐製品などが集います。伝統的手法で作られた美と職人の技は必見です。



見どころいっぱい、 春日部ぶらり旅。

◎ 春日部今昔物語

今から約7000年前、春日部は海だったなんて信じられますか。事實、花積貝塚などの遺跡からは、その当時の様子を物語る貝殻、土器、住居跡などが見つかっています。その後、ゆっくりと海岸線が後退し、現在の地形となっていましたのです。中世になると、紀氏の一族が土着し、地名の「春日部」を名字として名乗りました。鎌倉将軍に仕えましたが、同年京都で亡くなっています。

春日部氏は、今の八幡公園付近に居館を築き、春日部八幡神社などを創建しました。その館跡からは、中国から輸入された高級陶器も見つかり、当時かなりの繁栄を誇ったことがわかります。

江戸時代になると、春日部は日光街道第四の宿場として栄えます。文字も「粕壁宿」という字が使われました。ちょうどこの時代は、古利根川が江戸を結ぶ航路として重要な役割を果たして、春日部も米麦の集散地だったため、街道もかなりの賑わいを見せたようです。春日部市郷土資料館には、当時の推定模型があり、粕壁宿の様子や人々の暮らしに触れることができます。

昭和29年、春日部町、豊春村、武里村、幸松村、豊野村が合併し、平成17年には旧春日部市と旧庄和町が合併し、新「春日部市」となり現在に至っています。

にふれる 古き良き文化を残す

① 春日部八幡神社

昭和57年10月に御鎮座650年祭が執行され、御社殿等の大修造工事が実施されました。記念事業として「薪能」が奉納され、以後隔年毎に実施されています。（最寄り駅・八木崎）

② 都鳥の碑

「名にしおはば いざ言はん都鳥
わが思ふ人はありやなしやと」という歌を刻んだ碑です。嘉永6年（1853）に建てられました。都鳥の歌は、在原業平が遠く都を離れ東国を旅しているときに、隅田川（現在の古隅田川）に遊ぶ都鳥（ユリカモメ）を見て、ふるさとを懐かしみ詠んだものです。

④ やじま橋（市指定有形文化財）

石橋では、埼玉県内で現存する最も古いとされる「やじま橋」は、古隅田川に架かっていた橋で、粕壁から岩槻を結ぶ道の要。その頑丈なつくりは、二百数十年もの歴史の重みに耐えてきました。現在は南中曽根に移築され、当時の形のまま保存されています。（最寄り駅・豊春）

歩くを楽しむ 人とものが行き交う

① 春日部情報発信館「ぷらっとかすかべ」

市内の観光情報、市の特産品などの魅力的な情報を発信しています。館内には、クリエイションちゃんコーナーもあり、入館は無料です。レンタサイクル（電動アシスト付）もありますので、ぜひ、お立ち寄りください。

開 午前9時～午後4時30分 休 月曜日（祝日の場合は翌日以降の平日）

住 〒344-0061 埼玉県春日部市粕壁1-3-4（春日部駅東口徒歩3分）

☎ 048-752-9090

③ 大落古利根川

かつては利根川の本流であった大落古利根川。遊歩道の整備が進み、多くの市民が散策を楽しんでいます。春は桜、夏から秋にかけては豊かな水の流れ。冬は野鳥の群れなど、四季を通じて自然と親しむことができます。

す 風情ある街並み



6 備後須賀稻荷神社

王子稻荷、佐野稻荷とともに関東三社稻荷の一つに挙げられる備後須賀稻荷神社。備後の国から来たとされる本尊を祀ってあることから備後という名がついたとか。3月第1日曜日の初午大祭には賑わいも一段と増します。

(最寄り駅・武里)



5 圓福寺

幼い頃から神童と呼ばれた春龍は庶民の厄難を救い、自ら説法するかたわら、子どものために身を投じてつくされた浄土宗の名僧です。圓福寺は「子育て春龍」として崇拜された春龍上人ゆかりの地で、同寺には、市指定有形文化財の「木彫当麻曼陀羅図」等の仏教彫刻が安置されています。(最寄り駅・一ノ割)



7 牛島の藤

(国指定特別天然記念物)

明治のころは3mにもおよぶ花房を下げていたといわれ、国の特別天然記念物に指定されている牛島の藤。伝説によると、弘法大師のお手植えとも。幹回りは4m以上、藤棚の面積は800㎡もある国内最大規模のフジです。4月下旬から花を付け、各地からの観光客の目を楽しませてくれます。

(最寄り駅・藤の牛島)



8 花蔵院の四脚門 (県指定有形文化財)

四脚門とは屋根を支える2本の本柱の他に、前後2本ずつ計4本の袖柱があるところからこの名前がつきました。各所に施された装飾や彫刻の華麗な技法から、江戸時代中期の建造と推定されています。

(最寄り駅・南桜井)



9 西金野井香取神社

古くは「梶取明神」と呼ばれ、舟運に携わる人々から信仰を集めました。県指定有形文化財の本殿は「檜皮葺一間社流造」というヒノキ板の屋根が、ゆるやかな反りをもつことが特徴で、室町時代末期の建立と推定されています。

(最寄り駅・南桜井)



10 小淵山觀音院仁王門 (市指定有形文化財)

小淵山觀音院は、別名「イボとり觀音」と呼ばれ、昔からイボやコブ、アザをとるご利益のある觀音信仰の靈場として親しまれてきました。同院では7体の円空仏を所有し、中でも歲旦王權現立像は全国的にも希少な像です。聖觀音菩薩立像は高さ194cmと県下最大の規模を誇っています。(円空仏は、現在埼玉県立歴史と民俗の博物館に保管)

(最寄り駅・北春日部)



6 内牧公園

果樹園や丘陵樹林地などのある内牧地区。ここにはサイクリングコースのある内牧公園とそれに隣り合わせてアスレチック広場もあり、休日には沢山の家族連れで賑わっています。

りゅうきゅうかん

7 首都圏外郭放水路・龍Q館

地底50mを流れる、世界最大級の地下放水路。地底探検ミュージアム「龍Q館」では地底の大施設や洪水、川などについて楽しく学べます。



8 道の駅「庄和」

農産物直売所や食事処「食彩館」があります。都心に向かう4号国道最後の道の駅です。



う 穏やかな街並み

4 粕壁宿の道しるべ

粕壁宿に位置する春日部駅東口の商店街は、ガス灯風の街路灯や、櫻、けやきなどを植栽し、ゆったりと買い物ができる所です。配電ボックスや商店のシャッターには、粕壁宿をイメージしたデザインが描かれています。



5 教育センターと郷土資料館

教育センターには、子どもの教育上の相談を受ける教育相談センターのほか、視聴覚センター、さらには縄文時代の住居や粕壁宿を復元した郷土資料館があります。

